

令和7年度 和光市保育の質のガイドライン研修

研修テーマ『子育て支援』

R8. 3. 3 和光市保育センター発行

今年度の「和光市保育の質のガイドライン研修」は、テーマ別に3回開催しました。第1回は「子どもの権利」、第2回は「一人一人に合わせた支援」について学び、そして第3回では、第1、2回に引き続き植草学園大学教授の小川晶先生をお迎えし、「子育て支援」をテーマにお話いただきました。

講義とグループディスカッションを通して、子どもの育ちを支えるために保育者が大切にすべき視点や、子どもや保護者をアセスメント（分析）しながら支援方法を考えていく重要性について理解を深める貴重な機会となりました。

小川先生から学ぶ「子育て支援」(研修内容より抜粋)



保護者は「親」としての部分だけでなく、「職業人として」「パートナー(夫・妻)として」「子として」等、複数の役割や背景があります。「親なんだから〇〇すべき」と捉えるのではなく、様々な立場からの視点で見ることで支援の方法や言葉のかけ方が変わってきます。一人一人の立場になって支援方法を考えていきましょう。

子育て支援・親支援において、保護者との信頼関係を築くことがとても大切です。「先生はうちの子のことをよく知っているな」「うちの子は先生のこと大好きだな」「先生は私の考えや思い、頑張っているところを理解してくれている」等、保護者からの信頼を得られるよう、日々の関わりを丁寧に行いましょう。そのような関わりを継続することで、保護者は安心して相談することができ、保育者からの提案や助言を聞き入れられる関係性が構築されます。



子育て支援は、在籍している親子への支援と、在籍していない親子への支援があります。困っているのに相談をしに来ることができない「支援を必要とする対象者」がいるかもしれないという視点を持つことが大切です。そのような親子が気楽に遊びに来ることができる場所を提供し、支援に繋げていくことが大切です。

たとえば、「子育て相談会」より、「親子カフェ」といったネーミングのほうが気軽に足を運べるかも！

子どもをアセスメント(分析)する際は、客観的なデータに基づき、その子の「今の状況」をきちんと把握しましょう。「なんとなく言葉が遅い」「なんとなく太っている」という心配ではなく、発育曲線のデータや発達段階を理解したうえでアセスメントをし、課題解決に向けた対応を考えていきましょう。



～受講者の感想より～

目の前の保護者、地域の存在(見えない
と思い込んでしまう)、世帯への支援の事
例が参考になりました。

事例検討では、同じグループの先生方
と積極的に意見を出し合えたので、短時
間ながら有意義で学びになりました。事
例はいずれも園でもありえるケースだ
つたので、園内で共有し、支援に活かして
いけるとよかったです。

(みなみ保育園 S先生)

他園の先生方の意見を伺って、自分には
ない考えが勉強になりました。保護者から
寄せられる意見にはどんな小さなことで
も耳を傾けて共感し、対応しなければいけ
ないと感じました。

園のまわりにいる困り事があっても寄せ
られない人達について、初めて考えまし
た。自分や園でできる事を考えていきたく
と思います。

(和光エンゼル保育室 N先生)

グループディスカッションを通して、他
の園の先生方と意見を出し合うことで保護
者支援の学びが深まりました。

保護者支援において、信頼関係が大事で
あることを改めて感じました。日頃からお
子さんの様子を伝える等して、支援に有効
な関係を築いていきたいと思えます。

(にいくら保育園 I先生)

保育をしていると、つつい目の前の家庭だ
けを視野に入れて子育て支援をしていますが、
研修の中にもあった自ら助けを求めにこない人
への支援について難しさを感じると共に、より
意識していかなければならないと感じました。

普段から保護者とやりとりする時には、子ど
もと親と別にして考えたり、園でジェノグラム
を作成したりしていますが、正しくアセスメント
できているか再確認しようと思えました。

(丸山台プライムスター保育園 S先生)



本ガイドライン表紙のイラストは、地面にしっかりと根を張り、時には枝が折れたりすることを経験しながらも、枝葉を伸ばし、花を咲かせ、実をつけるたくましくつるのよう
に子どもたちが育っていくよう、本ガイドラインがリボンとなり周囲の大人を繋ぎながら、子どもたちの成長を支える姿をイメージしています。

「和光市保育の質のガイドライン」を活用して、保育施設の職員、保護者や地域の方、行政が繋がりが合いながら、子どもの育ちを支えていこう！



和光市保育の質のガイドラインの掲載HPはこちらから！



お問合せ：和光市 保育センター
TEL：048-483-4407